

【BRIDGE施策2】 ネイチャーポジティブ経済移行戦略を踏まえた、各セクターにおけるルールメイキングと市場創造促進事業

【横断・基盤WG】 ネイチャーポジティブ経済実現に向けた国際ルールメイキングによる市場形成と戦略立案による市場獲得の 具現化のための
プロセス検討・ロードマップ策定プロジェクト

【研究開発期間】 令和6年度～8年度

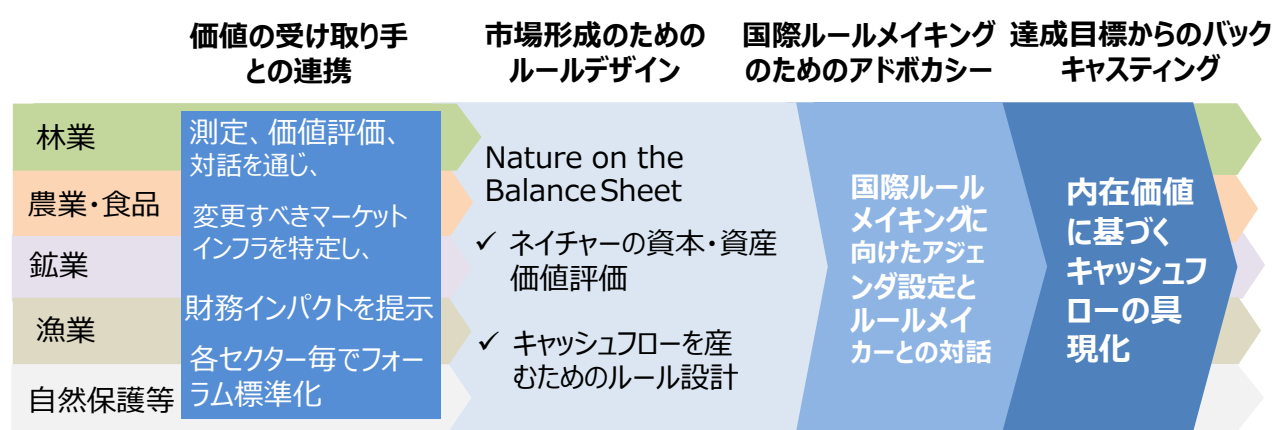
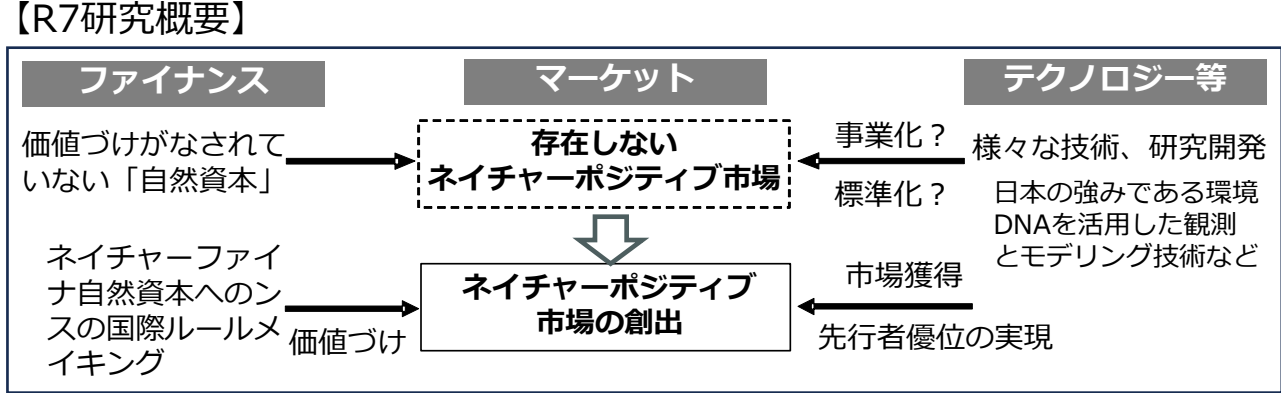
【代表機関名/研究開発責任者】 東京大学 石井 奈緒子

【概要】 ネイチャーポジティブ経済の実現のために必要となるネイチャーポジティブ市場を創造するため国際ルールメイキングの在り方と道筋を検討し、国際社会と協働する体制を構築。ネイチャーポジティブ市場規模を算出し、我が国における同領域及び関連領域の技術の優位性を分析することで、我が国としての攻めの戦略、守りの戦略を描き、他のWGや企業との協働のもと標準化および事業化に向けた方策を策定。

- 【課題】
- 国際ルールメイキングの主戦場がカーボンニュートラルからネイチャーポジティブ(NP)へと推移しつつあり、2025年のブラジルでの**COPがアジェンダ形成の重要なマイルストーン**となる。
 - NP領域における国際ルールメイキングに日本は打って出れておらず、欧州等が主導する形で進展する可能性大。
 - NPに関する様々な技術開発が大学・研究期間等で実施されているものの、NP市場が存在しないため、民間からの投資は過小。
 - 企業の取組も情報開示(TCFD, TNFD等)に留まり、価値づけと価値獲得に繋がっていない。**

- 【R7実施内容】
- NP市場を形成するためのネイチャーファイナンスの国際ルールメイキングの検討。
 - NP市場を獲得するための技術・標準化戦略の策定。
 - NPの実現を支えるコミュニティの形成。

- 【R6年度成果によるR7～8年度の取組】
- 日本が国際的に影響力を持ち得る林業セクターに注力し、自然資本価値に基づいた経済のコンセプト検証等を実施。**
 - ネイチャーファイナンスの国際ルールメイキングを具現化するためのプロセス検討・ロードマップ策定**
 - NP市場を獲得するための技術・標準化戦略の有効性の検証。



【実施体制】

統括・研究代表機関：東京大学、協力機関：非公開